

地域情報通信基盤整備推進交付金事業における整備計画の事後評価

事業名		地域情報通信基盤整備推進交付金事業			
事業の概要	事業完了日	平成22年4月23日			
	総事業費	8,820千円			
	交付金額	2,940千円			
	整備対象地域	大空町女満別(豊里、大東、大成、日進、開陽) 大空町東藻琴(福富、末広、山園)			
	事業の内容	<p>・大空町の超高速ブロードバンド(又はブロードバンド)基盤は市街地においてはFTTH、ADSL等のサービスがすでに提供されているが、郊外ではLTEエリアも拡大しているが未だISDNを利用するしかない地域もあり、地域間の情報格差が解消されない状況にある。条件不利地域は農村部であり、面積が広大・人口密度が低い・過疎地であることから、まとまった加入者数を確保できないことから、住民ニーズはあるが民間事業者は採算性の問題からサービス展開が期待できる状況にない。</p> <p>・大空町の農村部において超高速ブロードバンド(又はブロードバンド)の展開を考えた場合、FTTH(有線)の場合、総延長距離が長く設置・維持コストが膨大になる。FWAの場合でも防風林を回避して基地局を設置すると設置箇所集が多く、有線同様設置・維持コストが膨大になることが予想された。</p> <p>・そのため、FTTH等の他の方式と比較して、通信速度は低いが、通信網等の基盤整備をすることなく必要な場所への設置費用のみとなるため設置コストを抑えることができる衛星ブロードバンドサービス(人工衛星を介したインターネットアクセス)を活用したブロードバンド基盤整備を実施することとした。</p> <p>・条件不利地域の住民に意向調査を実施し、希望する住民に衛星ブロードバンドサービスを活用した情報通信基盤整備を実施した。</p>			
BB	サービス開始日	平成22年4月23日			
	サービス形態	公設民営			
	契約先	株式会社コアテック			
		整備計画時の目標		実績	
		初年度	最終	平成23年度末	平成27年度末
	整備地域の世帯数	28	28	28	28
加入世帯数	28	28	28	28	
加入率(%)	100%	100%	100%	100%	
評価及び課題	<p>・大空町女満別・東藻琴両市街地から遠距離の条件不利地域の住民を対象に情報通信基盤(衛星ブロードバンド)整備を実施した。</p> <p>・情報通信基盤(衛星ブロードバンド)の整備による情報格差の解消及び地域の通信環境が向上したことにより、都市部と比較しても時間差の無い情報収集等が可能になり、事業(農業地域)において有効な情報の活用が推進されたものと評価している。</p> <p>・課題としては、本事業により整備した衛星ブロードバンド関係機器について、IPSTAR衛星の寿命が2021年に迎えると言われており、次期人工衛星の対応やサービス継続について保証されていないこと、また次期人工衛星に対応したモデム・アンテナ等機器の更新が必要な可能性があることから、機器設置住民への対応を検討しなければならないものと認識している。</p>				